

**新宿区エコライフ推進員**  
**活動報告書**  
**(令和6年4月～令和8年3月)**

**第11期新宿区エコライフ推進協議会**

新 宿 区 長  
吉 住 健 一 様

## 第 11 期新宿区エコライフ推進協議会活動報告

「新宿区エコライフ推進員」は、自らが環境に優しいエコライフを実践するとともに、その取組を地域に広める活動を行う区民の会です。平成 16 年に発足し、現在は第 11 期新宿区エコライフ推進員（任期：令和 6 年 4 月～令和 8 年 3 月の 2 年間）が活動を行っています。

第 11 期は、環境問題を検討してきました。都市が発展するにつれて、緑地が減少し、さまざまな環境問題が顕在化してきました。まず、ヒートアイランド現象の深刻化があげられます。都市部では、コンクリートやアスファルトが増えることで、熱がこもりやすくなります。これは、緑が持つ「蒸散作用による冷却効果」や「日影を作る効果」が失われることで、さらに加速します。

次に、生物多様性の減少があげられます。開発が進むことで、生き物が生息する場所が失われ、多様な生態系が危機に瀕しています。都市の緑は、生き物たちの貴重なすみかや移動経路となります。

最後に、防災機能の低下です。樹木や緑地は、災害時に延焼を防いだり、避難場所を提供したりする役割も持っています。緑の減少は、都市の防災能力を弱めることにもつながります。

この環境問題にあたり、区民の役割として一人ひとりが環境への意識を持ち、事業者・区の立場に応じてできることに取り組み、区民・事業者・区がそれぞれの立場を尊重し活動を広げていくことが大切だと思います。その一助となれるよう「エコライフ推進員」として、何ができるかを考え、自分たちでできることから取り組んでいきたいと思っています。

令和 8 年 3 月

第 11 期新宿区エコライフ推進協議会

# ～ 目 次 ～

## ◆ 第11期活動内容（令和6年4月1日～令和8年3月31日）

1	エコライフ推進員とは	.....	3
2	第11期エコライフ推進協議会 活動内容	.....	4
3	第11期エコライフ推進協議会 参加イベント	.....	5
4	施設見学会	.....	6
5	各分科会の活動報告		
	新宿いきもの分科会	.....	7
	環境対策分科会	.....	14
	資源循環型社会の実現をめざす分科会	.....	23

## ◆ エコライフ推進員の個々の活動報告(順不同)

	新宿グランドターミナル構想について	.....	35
	再生可能エネルギーとは	.....	37
	みどりのカーテン	.....	40
	行い	.....	40
	「水」と「緑」のまちづくり	.....	41
	みどりのカーテンで節約	.....	42
	「ゼロカーボンシティ」に向けての取組と普及活動	.....	43
	私の生活を変えたコンポスト	.....	44
	令和6年度 新宿エコライフまつり	.....	50
	「まちの先生見本市」に参加して	.....	51
	大樹は野鳥のオアシスだ	.....	51
	活動について考えてみよう	.....	53
	エコライフの取り組みについて	.....	54
	個人としてのエコライフ活動報告	.....	55
	新宿SDG s フェス2025（第23回まちの先生見本市）	.....	55
	エコライフまつり参加体験報告	.....	56

## ◆ 資料

1	新宿区エコライフ推進員の活動に関する要綱	.....	58
2	新宿区エコライフ推進協議会運営要領	.....	60
3	第11期新宿区エコライフ推進員名簿	.....	61

## ～ エコライフ推進員とは ～

### 1 エコライフ推進員の成り立ち

平成6年に策定された「新宿区環境管理計画」の中の「身近な環境に配慮し、地球環境にもやさしいまち」という目標を推進するため、平成7年度に環境保全推進委員が設けられました。平成16年には、環境保全推進委員に代わるエコライフ推進員の設置が「新宿区環境基本条例（平成8年4月1日施行）」で規定されました。また、「新宿区リサイクル及び一般廃棄物の処理に関する条例」に規定されたリサイクル推進員の活動もエコライフ推進員の活動に統合されました。

### 2 エコライフ推進員の委嘱

区内在住または在勤・在学の方で環境問題やリサイクル問題に関心があり、地域で啓発活動などができる18歳以上の方が対象です。定員は40名程度で、任期は2年で、区長から委嘱されます。

第1期	： 39名	任期：平成16年7月1日	～平成18年6月30日
第2期	： 35名	任期：平成18年7月1日	～平成20年6月30日
第3期	： 37名	任期：平成20年7月1日	～平成22年6月30日
第4期	： 39名	任期：平成22年7月1日	～平成24年6月30日
第5期	： 38名	任期：平成24年7月1日	～平成26年3月31日
第6期	： 37名	任期：平成26年4月1日	～平成28年3月31日
第7期	： 41名	任期：平成28年4月1日	～平成30年3月31日
第8期	： 36名	任期：平成30年4月1日	～令和2年3月31日
第9期	： 28名	任期：令和2年4月1日	～令和4年3月31日
第10期	： 27名	任期：令和4年4月1日	～令和6年3月31日
第11期	： 21名	任期：令和6年4月1日	～令和8年3月31日（委嘱時）

### 3 エコライフ推進員の活動概要

環境保全活動を地域に広げていくことを目的として、区の環境施策にも協力しながら、さまざまな活動をしてきました。

- (1) エコライフ推進協議会を年4回開催
- (2) 分科会活動を月1回程度実施
- (3) 新宿エコライフまつり等のイベントへの出展
- (4) 身近な環境活動の普及・啓発
- (5) 任期満了時に、活動内容を報告書としてまとめ区長へ提出

# ～第11期エコライフ推進協議会 活動内容～

## 第11期エコライフ推進協議会 活動内容

年 月 日				主な議題等
1	R6	4	18	令和6年度 第1回 ①第11期新宿区エコライフ推進員委嘱式 ②職員紹介 ③協議会会長の選出について ④分科会の決定及び所属分科会について ⑤分科会役員の選出、分科会名について
2		7	16	令和6年度 第2回 ①「新宿エコライフまつり」について ②「新宿区第三次環境基本計画（改定）」及び「新宿区一般廃棄物処理基本計画（改定）」について ③「3R推進キャンペーン」（11月30日）について ④施設見学会について ⑤各分科会の活動内容について
3		10	29	令和6年度 第3回 ①施設見学会について ②「新宿SDGsフェス2024 まちの先生見本市！」（12月21日）について ③新年賀詞交歓会の名簿掲載内容の確認について ④各分科会の活動内容について
4	R7	1	28	令和6年度 第4回 ①各分科会の活動について ②「新宿SDGsフェス2024 まちの先生見本市！」（12月21日）について ③普及啓発活動等の状況・現況の提出について ④支払金口座振込依頼書の提出について
5		4	22	令和7年度 第1回 ①令和7年度活動予定（案）について ②イベント参加について（「新宿エコライフまつり」） ③活動報告書について ④各分科会の活動について
6		7	3	令和7年度 第2回 ①各分科会の活動報告について ②第11期「新宿区エコライフ推進員活動報告書」構成（案）について ③「3R推進キャンペーン」（11月29日）について
7		10	28	令和7年度 第3回 ①各分科会の活動報告について ②「エコライフ推進員活動報告書」原稿の確認作成について（依頼） ③「新宿SDGsフェス2025 まちの先生見本市！」（12月20日）について
8	R8	1	20	令和7年度 第4回 ①各分科会の活動報告について ②活動報告会（3月27日）について ③第11期「新宿区エコライフ推進員活動報告書」（案）について ④令和7年度分活動謝礼 ⑤第12期「新宿区エコライフ推進員」の募集
9		3	27	第11期エコライフ推進員活動報告会

## 第11期エコライフ推進協議会 参加イベント

年 月 日				主 な 内 容
1	R6	6	1	新宿エコライフまつり 会場：エコギャラリー新宿 出展：エコライフ推進員の活動紹介パネル展示
2		10	15	施設見学会 見学先：①株式会社ASK商会 ②水とかがやく未来館（長沢浄水場広報施設）
3		11	30	新宿3Rフェスタ 会場：新宿駅西口広場イベントコーナー 出展：「資源循環型社会の実現をめざす分科会」の活動紹介とクイズによる啓発
4		12	21	第22回 新宿SDGsフェス2024 まちの先生見本市！ 会場：新宿中央公園 芝生広場 出展：パネル展示、ワークショップ、分科会紹介
5	R7	6	7	新宿エコライフまつり 会場：エコギャラリー新宿 出展：パネル展示、ワークショップ
6		11	29	新宿3Rフェスタ 会場：新宿駅西口広場イベントコーナー 出展：「資源循環型社会の実現をめざす分科会」の活動紹介とクイズによる啓発
7		12	20	第23回 新宿SDGsフェス2025 まちの先生見本市！ 会場：新宿中央公園 芝生広場 出展：パネル展示、ワークショップ、分科会紹介

### ● 新宿エコライフまつりとは

6月の環境月間にちなみ、地域に根ざした環境保全活動を促進し普及させるため、エコギャラリー新宿全体を会場として、区内のNPO、企業等を中心に多数の団体が出展し、来場者に向けた展示や体験事業を行う。

### ● 新宿3Rフェスタとは

3Rの普及啓発と、新宿区が「エコな暮らし」を推進するまちであることを広く発信するイベントを開催している。

### ● 新宿SDGsフェス まちの先生見本市！とは

事業者や環境団体、行政機関などの「まちの先生」が実施する環境学習プログラムを体験できるイベント。「まちの先生」を出前講座として教育現場で活用する等のきっかけづくりとするほか、環境への取組の環を地域へ広めていく。

### ● 施設見学会とは

環境に関する知識を深め、活動に活かすため、施設見学会を実施。

# ～施設見学会～

令和6年10月15日に、施設見学会が開催されました。以下の2か所の施設を見学しました。

<見学先>

- ① 株式会社ASK 商会
- ② 水とかがやく未来館（長沢浄水場広報施設）

当日は8時30分に区役所をバスで出発し、10時から株式会社ASK 商会を見学、その後、昼食をはさみ、午後は水とかがやく未来館（長沢浄水場広報施設）を見学しました。

株式会社ASK 商会は、有機物を熱分解してセラミックを製造する、資源リサイクル装置を見学し、リサイクルに関する最新の技術を学ぶことができました。

また、水とかがやく未来館（長沢浄水場広報施設）では、私たちが普段何気なく使っている水道について、実際に展示施設や浄水場を見学して、学ぶことができました。

エコライフ推進員のメンバーで一日バスで回って、施設を実際に目で見て学び、今後の活動へのモチベーションになりました。



株式会社ASK 商会・資源リサイクル装置



水とかがやく未来館・職員による説明



集合写真（水とかがやく未来館）



集合写真（バスの前にて）

# ～各分科会の活動報告～

## 新宿いきもの分科会

新宿いきもの分科会は、毎年「エコライフまつり」と「新宿SDGsフェス まちの先生見本市！」に出展し、自然や生き物に親しむ機会を提供することを目的に啓発活動を行った。

<2024年度 新宿エコライフまつり>

「新宿エコライフまつり」は、2024年6月1日（土）10時から15時までエコギャラリー新宿にて開催した。参加者には、家族連れが多く見受けられた。我々は、パネル展示と身近な生物を紹介する展示を行った。パネル展示では、新宿区の花「つつじ」が咲くスポットを分科会のメンバーで調査し、写真を撮影した場所を地図で紹介し、パネルを見た方にも身近な「つつじ」を見つけてもらおうというものである。また、新宿駅でたぬきが発見されえたことのパネルを展示。他には、生き物の声が聴けるタッチペンの設置をした。参加者にとって、身近な自然や生き物に関心を持つ機会となつてほしいと感じた。

### 2024年度 新宿エコライフまつり



こんなことがありました！



新宿駅に  
たぬきが  
出現！？

令和4年9月2日夜、新宿駅改札内にたぬきが現れました。利用客や電車の運行に影響はなく、その後、改札の外に逃げて行きました。

<新宿SDGsフェス2024 まちの先生見本市！>

新宿SDGsフェス2024 まちの先生見本市！



新宿中央公園にて2024年12月21日(土)10時から16時開催の「新宿SDGsフェス2024 まちの先生見本市！」に出展を行った。紙皿で作ったリースとゆきだるままた、松ぼっくりのツリーを作成できるワークショップを出展した。天気もよく、朝から子どもたちが参加してくれました。開催場所が広く、参加者がゆっくり作られる環境で楽しんでもらえた。子どもたちは絵を描いたり楽しそうな様子が見られた。ワークショップの材料は身近にあるもので用意した。落ち葉や松ぼっくりはみんなで拾ったり、みんなで事前に楽しく準備ができた。

<2025年度 新宿エコライフまつり>

エコギャラリー新宿において、2025年6月7日(土)10時から「新宿エコライフまつり」が行われた。天気に恵まれ、多くの家族連れで賑わった。今回は初めての試みを取り入れた。

一つは「身近な動物や鳥の足形クイズ」。絵が得意な推進員がとても上手な動物と動物の足の裏の絵を描いてくれた手作りのクイズ。3つの足跡を並べ、どの足跡がイヌ、ネコ、タヌキにあたるかを当ててもらおうクイズである。普段見ることのない足の裏に興味を持って話をするきっかけ作りに繋がった。

ある子供が「家には動物がいない。おばあちゃんの家には猫がいるよ。どんな足の裏かな？」ってご両親に聞く。親子でどれかな？と会話する姿を見ると、心がホッコリ温かくなった。

もう一つは「野生の動物の目撃情報を教えてもらおう」というものだ。いままでは、こちらから情報を発信するだけなので、今回は皆さんに情報を発信していただく試み。新宿区の地図に目撃情報を書いた付箋を貼ってもらう新たな交流を試してみた。

子どもだけでなく、親御さんも付箋にかきながら一緒に「学校の近くで動物を見たね」と話をする、子どもが「鳥も見た」と、親子で思い出しながら会話が弾んだ。

最近はデジタル化が進み、会話が減っているように感じている。今回の取り組みで親子が会話を通じて楽しい一時を過ごす一助になれば嬉しい。

実際に行ったことで問題点も浮き彫りになった。これらを改善し、今後の活動に活かしていきたい。

## 2025年度 新宿エコライフまつり



前期で作成した「いきものマップ」の展示。

「いきものマップ」には、推進員で目撃した動物の情報を提示。



動物を目撃した場所にシールや付箋を貼ってもらう。

多様な動物の目撃情報が見受けられた。

<新宿SDGsフェス2025 まちの先生見本市！>

2025年12月20日10時から16時まで、新宿中央公園で行われた「新宿SDGsフェス2025 まちの先生見本市！」に出展をした。「2025エコライフまつり」と同様に子ども連れが多く見られた。当日は、地球温暖化に関するパネルと第10期で作成した、「つつじマップ」を紹介した。つつじマップは、新宿区の花であるつつじに着目し、つつじの鑑賞スポットをまとめたものである。また、身近な自然に気づききっかけづくりとして、以下の3種類のワークショップを行った。1つ目は、紙皿を利用したリースづくりである。事前に、紙皿の中心に穴を開けてリースの型を作り、上部にも穴を開けて紐を通す。さらに、公園などで拾った落ち葉を押し葉にしておく。当日は、このリースに参加者が押し葉を使って自由に飾り付けをする。2つ目は、ゆきだるまづくりである。リースの穴を開ける際にできた円の紙を利用し、のりで貼り合わせてゆきだるまを作成。こちらも参加者にマジックや押し葉で自由に飾り付けてもらう。3つ目は、まつぼっくりのツリーづくりである。公園等で拾ったまつぼっくりを、粘土を詰めたペットボトルのキャップにさすことで自立できるツリーにする。参加者には、その上からマニキュアで色を付け、仕上げってもらう。参加者には、まつぼっくりのツリーが特に人気で、まつぼっくりが「珍しい」という声も聞こえた。参加者の多くが子どもであり、飾り付けに夢中になる姿が見られた。こうした活動を通じて、自然に触れる機会を提供できたと感じた。

新宿 SDGsフェス 2025 まちの先生見本市！



展示とワークショップを出展



ワークショップの様子

<11 期の活動を通じて>

この2年間の活動を通じて、啓発活動を行いながら、参加者との交流を深めることができた。生き物や自然に関心を持つきっかけづくりになればと感じる。一方で、課題として、啓発活動の内容を十分に伝えることが難しかった点が残った。近年、地球温暖化が進む中で環境が変化していることが注目されている。そのことに危機感を持ち、展示内容を考えたが、興味を持ってもらうことが少なく、啓発活動の難しさを感じた。次の活動では、残った課題に対して、取り組んでいきたい。

# 環境対策分科会

## 1 歌舞伎町に道頓堀を

### (1) 活動テーマはヒートアイランド現象の対策

今期の環境対策分科会の活動テーマはエコロジーの観点から「ヒートアイランド現象」の原因と対策を考察することであった。

前期当分科会は、水の道（＝風の道）の環境の現状を確認するべく街歩きを6回にわたって実施した。実際に歩いてみると当区の水辺の環境は緑にあふれた生物の生息に極めて好ましい環境にあることがわかった。水の道は風の道となって夏には周辺の冷却効果を生んでいることを確認した。

これらの活動を踏まえて今期は前期で回り切れなかった隣区との接続部分を越境して周辺の環境を確認するとともに暗渠となっている蟹川の跡地を歩き区内全域を隈なく踏査することによって「何か見えてくるものがあるのか」を考えた。

### (2) 蟹川が消えた

暗渠となった蟹川はどうなっていたのか。私たちは「蟹川が消えた」という衝撃的事実を目撃することとなる。かつてあった川は道路、建物と一体化して川の形跡は全く感じられず、開渠の川沿いでどこにもありふれた緑の痕跡が一切みられないことを確認した。

### (3) 蟹川を開渠にすることを提案する

当分科会は蟹川を開渠にすることを提案する。開渠化した河川は必ず風の道になりヒートアイランド現象解消の一助となる。また、河川の周辺を緑化すれば河岸緑地を形成することも可能であり生物の生息に好ましい環境を提供することになる。蟹川の開渠化は無理な願いか。そんなことはない。渋谷川では宮下公園周辺整備で官民協力渋谷川の開渠化と遊歩道の整備を実践している。

### (4) 国や生態系の専門家は河川の開渠化をどのように考えているか

国土交通省は「環境の保全と整備」にあたって「各事業を実施するにあたっては国土規模での生態系ネットワークの形成を行う」こととしている。生態系ネットワークに期待される効果について「ヒートアイランド現象の緩和」を上位に位置付けている。

また、生態系の専門家の新里達也博士は東京のエコロジカルネットワークについて「明治神宮、新宿御苑、神宮外苑と皇居が一定の間隔で連なっていることは、多様な生物環境として好ましいものであり、コアとなる大規模な自然地と自然地との間をつなぐ生態系の回廊をつくることが重要である。生態系の回廊の最善なのは開放型の水路である」としている。

## (5) 渋谷川開渠化の経緯

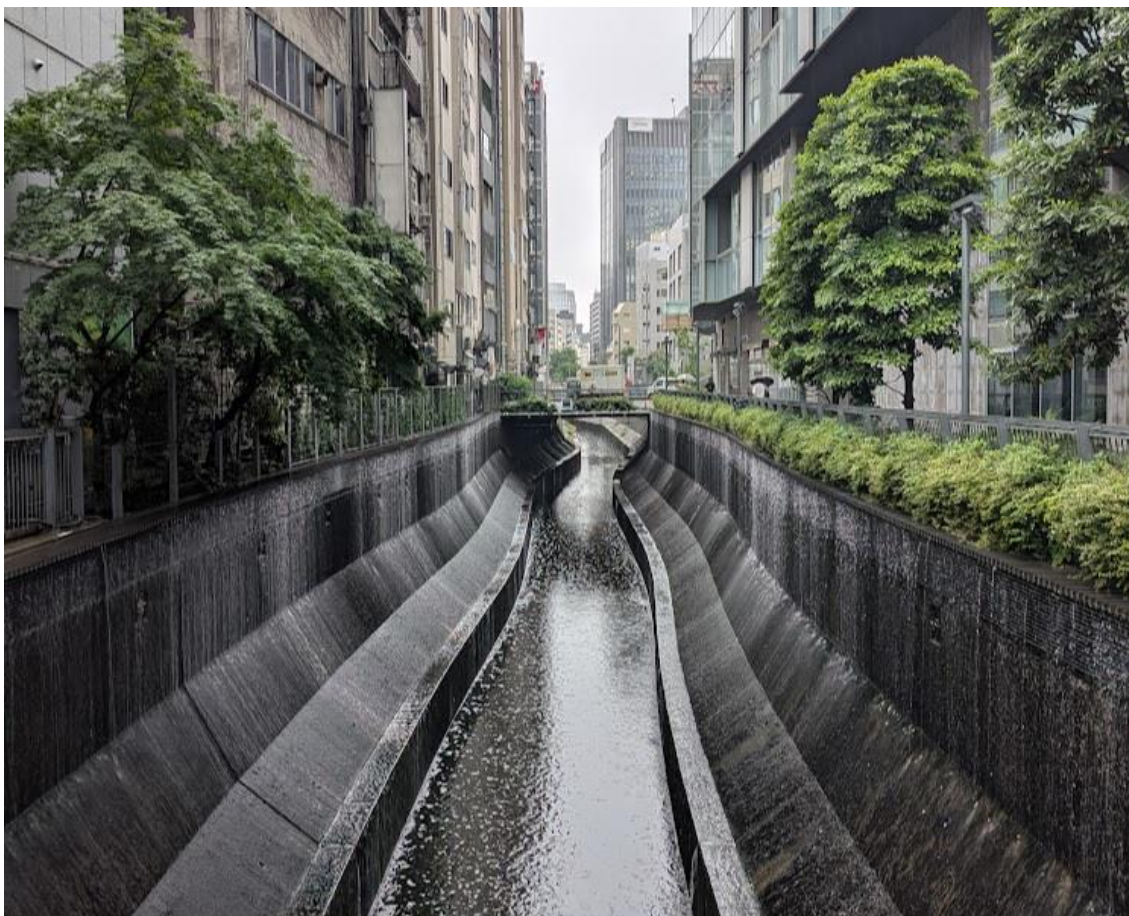
1964年の東京オリンピックに先立ち1961年頃渋谷川の稲荷橋(渋谷駅の南側)から上流側の区間が暗渠・下水道化された。稲荷橋から下流側は1970年までに暗渠化され、ほとんどの区間で河川上空が覆われる形となった。2018年東京急行電鉄(現:東急)による渋谷駅南側の再開発として「渋谷ストリーム」がオープン。再生水の放流地点を同施設近傍へ変更し、また、同施設から並木橋までの区間には川沿いに遊歩道「渋谷リバーastreet」を国や生態系の専門家の見解に基づき整備した。

## (6) 歌舞伎町に道頓堀を

私たちは蟹川を開渠化することで歌舞伎町に道頓堀のような水のある環境を新たに創造することを目指したい。

道頓堀川もかつては工場排水が流され、ヘドロが溜まり、極めて劣悪な環境にあったが、行政の対策により今は川底が見えるまでに水質も改善している。

暗渠を開渠にするためには解決すべき多くの課題が存在するが蟹川の一部でも開渠化する可能性はないか分科会活動として次期以降も継続して課題と解決策を考えてみたい。



2018年に渋谷川を開渠化して整備した渋谷リバーastreet

渋谷駅南の渋谷ストリームから並木橋までの600mの区間を遊歩道として整備した

## 2 「風のみち」と「水のみち」の概要・まち歩きまとめ

「みどりの配置方針図」を見ると、「風のみち」（明治通り）が中央部を東西に貫いている。四ツ谷駅から新宿駅北を通り中央公園に抜ける東西の「風のみち」、新宿御苑の北西の角が東西南北の「風のみち」の交差点となっている。

「水のみち」は全て区の周縁部にある川や堀などの水路であり、風の通り道として「七つの森」の全てに接している。

### 【散策スケジュール】

令和4年11月から令和7年6月にかけて、新宿区内、近隣区をまち歩きしました。

#### ～第10期のまち歩き～

- (1) R4. 11. 08 おとめ山公園周辺と高田馬場から下落合駅（神田川、水のみち）
- (2) R5. 03. 07 新宿御苑（風のみち）
- (3) R5. 04. 04 市ヶ谷から飯田橋（外堀、水のみち）
- (4) R5. 05. 16 戸山公園・箱根山（風のみち、水のみち）
- (5) R5. 07. 25 下落合駅からエコギャラリー新宿（神田川、水のみち）
- (6) R5. 09. 05 江戸川橋から高田馬場（神田川、水のみち）

#### ～第11期のまち歩き～

- (7) R6. 10. 08 第二分庁舎→若松町→早稲田→榎町地域センター（蟹川をたどる）
- (8) R6. 11. 05 新宿御苑駅→花園神社→成子天神社→エコギャラリー（蟹川をたどる）
- (9) R6. 11. 26 新宿歴史博物館（「特別展 江戸の水道 玉川上水」を見学）
- (10) R7. 03. 11 天龍寺→新宿御苑→四谷地域センター（渋谷川源流から新宿御苑）
- (11) R7. 04. 08 哲学堂公園→妙正寺川（妙正寺川をたどる）
- (12) R7. 05. 13 お茶の水駅→神田川（神田川をたどる）
- (13) R7. 06. 10 渋谷駅→渋谷川（渋谷川をたどる）



### 3 第11期環境対策分科会・まち歩き記録

#### (1) R6. 10. 08 蟹川をたどる①

第二分庁舎（集合）→若松町→早稲田→榎町地域センター



・暗渠であり、やはり目の前に水が流れる川がないと、川という感じがしない。普通の住宅街の道路という感じがする。

・普通に道路を歩いているだけでは、この下に川があるというのはイメージできなかった。ただ、道路が川っぽい形にカーブしているのをみると、この道路の下に暗渠があるというのがなんとなくイメージできた。

#### (2) R6. 11. 05 蟹川をたどる②

新宿御苑駅（集合）→花園神社→成子天神社→エコギャラリー新宿



・新宿区に長く住んでいるが、成子天神社に蟹川の源流があるということに驚いた。成子天神社のひょうたんと水槽は蟹川の源流であることが関係あるのかもしれない。そういったことを考えるのは歴史などに関連付けられて面白い。

・今は暗渠となっているが、ここに川があったときはどんな生活だったのかということ想像すると、面白い。

(3) R6. 11. 26 新宿区立新宿歴史博物館  
「特別展 江戸の水道 玉川上水」を見学



- ・「特別展 江戸の水道 玉川上水」の歴史を見て勉強になった。当時の貴重な資料などを見られてよかった。
- ・川について調べていたが、併せて水についても勉強になった
- ・今のように機械などがなかったなか、ここまでの川を作ったのはすごい事だと思った。
- ・川ができたことで近隣の生活や文化についても影響を与えているのではないかと感じた。

(4) R7. 03. 11 渋谷川源流から新宿御苑  
天龍寺（集合）→新宿御苑散策→四谷地域センター



- ・あの渋谷川の源流が天龍寺にあったということに驚いた。源流の井戸を見ても、これが渋谷川の源流ということに気付かないのではないかな。
- ・新宿御苑の玉藻池の池は広大であった
- ・四谷地域センターにも玉川上水の看板があった。色々調べていくと、川と人間の生活には密接な関係があったことが想像できる。さらに、文化などにも影響を与えたのではないかなどを考えると面白い。

(5) R7.04.08 妙正寺川をたどる

中野駅（集合）→哲学堂公園→戸塚地域センター



- ・川沿いは整備されており、きれいであった。
- ・川沿いには公園も多く、子どもなども遊んでおり、自然と遊び場が調和していた。
- ・居住地すぐ隣を流れる川であり、景観のためにもきれいにしているのではないかと想像した。

(6) R7.05.13 神田川をたどる

お茶の水駅前（集合）→東京都水道歴史館→千代田区三崎中継所→牛込笹笠地域センター



- ・川の下流側が思っていたよりもきれいだった。飯田橋の川は、川の流れがなく淀んでいるため濁っているのではないか。対して、御茶ノ水の川は整備がされていてきれいな川であるのは、川の水が流れているからではないか。また、塩水では植物が育ちにくいと思っていたが、実際は多くの植物が見られた。
- ・御茶ノ水の川がきれいであるのは、川沿いに住宅が少ないことが関係しているのではないか。
- ・ごみの集積所（三崎町中継所）が見れたことは貴重であり、興味深かった。

(7) R7.06.10 渋谷川をたどる

渋谷駅（集合）→渋谷川



- ・渋谷川は汚かった。場所が渋谷駅の近くであり、先日歩いた妙正寺川などは、川沿いに人が住んでいるので、そことは立地条件が違い、人が住まないところなので、そのことも川の汚さと関係しているのかもしれない。
- ・渋谷川の川沿いを歩いてみて、この渋谷川を開渠化するのはすごい事だと実感した。そうとうな苦勞であったり、費用などがかったのではないかと想像した。

#### 4 第11期環境対策分科会・参加したイベント

第11期の環境対策分科会では、エコライフまつり、まちの先生見本市に出展しました。

エコライフまつりでは、会長から吉住区長に、環境対策分科会で作成したパネルについて説明しました。

まちの先生見本市では、たくさん子どもたちに、環境対策分科会で作成したパネルを見てもらいました。次代を担う子どもたちが環境に興味をもつきっかけとなればと思います。

##### (1) エコライフまつり



パネル展示



吉住区長に説明する会長

##### (2) まちの先生見本市



パネル展示



たくさんの方が来所

# 資源循環型社会の実現をめざす分科会

資源循環型社会をめざす分科会では、新宿区第三次環境基本計画(改定)を踏まえ、「ゼロカーボンシティ」を実現するために、新宿区が定めた「基本目標とその達成に向けた取り組み」を目指していくことにしました。

## 現状から見た課題 ▶ ごみ減量とリサイクル・適正なごみ処理

区民一人一日あたりの区収集ごみの量は、徐々に減少をしています。しかし、人口が増加しているため、減少量は鈍化の傾向にあります。計画策定後の国や都の動向を踏まえ、ごみ発生の抑制、地球温暖化対策、地球環境問題への取り組みを一層推進していくことが重要です。

### ① 食品ロスの削減

食品ロス削減の計画を策定し、これまでの取り組みをなお一層推進していく必要があります。

### ② 資源回収の推進

古紙、資源プラスチック、びん、缶、ペットボトル、スプレー缶、カセットボンベ、乾電池等の分別回収、資源化を図る必要があります。

### ③ 家庭ごみの適正処理・適正排出

燃やすごみ、金属・陶器、ガラスごみともに、資源物混入の割合は減少していますが、さらなるごみ減量・資源化の推進を行い、より一層の適正な分別をする必要があります。

## 取り組む施策項目 ▶ 区民・事業者との協働による 3R の推進

発生抑制(リデュース)や再使用(リユース)によりごみ発生自体を抑えます。また、発生したごみは、再利用(リサイクル)することで、資源を無駄にしない循環型社会を実現することになります。

ごみを減らすために3Rに取り組みましょう。3Rには順番があります。

### ① リデュース ごみになるものを減らす

使い捨てになるものは、買わない。過剰包装は断る。買い物にはマイバッグを使用。必要な量だけ購入する。

### ② リユース 物を工夫して繰り返し使う

こわれたものは修理して使う。容器は中身を入れ替えて使う。リサイクルショップやフリーマーケットを利用する。

③ リサイクル 再生利用する

資源ごみをきちんと分別して出す。再生品を買う・使う。

### 目標達成に向けた行動例

食品ロスを減らす                    ミニトマト 20 グラム  
使わない物は断る                レジ袋(2枚) 14g   カトラリー類 各1g  
資源として分別排出する    チラシ(3枚)18g

### 計画目標

区民一人当たりの区収集ごみの量

令和3年度 552g   削減量 108g 【約19%】(単年度18g削減)

令和9年度 444g

### ごみの総排出量

令和3年度 125,846t   削減量 1.1万t 【約9%】

令和9年度 114,207t

日本の食品ロスは、年間543万t   国民一人当たり「茶碗一杯分(約114g)の食べ物」が毎日捨てられています。

新宿区では、区民と事業者が一体となって連携・協力をしながら2050年までに、区のCO<sub>2</sub>排出量実質0を目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて取り組んでいます。分科会では、「資源循環型社会の実現をめざす」をテーマに掲げて活動を進めてきました。

私たちを取り巻く地域のごみの現状と課題を取り上げ、ごみの発生を抑え、資源循環型社会を目指し、効果的かつ効率的に地域への普及と啓発をしやすいように、パネルを作成しました。

### <作成したパネル>

- ① 「環境にやさしいこと」未来に向けて！ 私たちにできること
- ② ゼロカーボンシティの実現に向けて    ごみ減量とリサイクルを考える
- ③ ゼロカーボンシティの実現に向けて    3Rから考えるエコな暮らし  
(資源循環型社会)

ごみの減量と資源有効活用のキーワード「3つのR」

新宿区 家庭用 資源・ごみの分け方・出し方

製品プラスチック+容器包装プラスチック→資源プラスチック(改定)

# 「環境にやさしいこと」 | 未来に向けて! 私たちにできること

令和3年6月5日、吉住健一新宿区長が「新宿区ゼロカーボンシティ」の実現に向けての取り組みを表明されました。(※)

私たちを取り巻く自然環境は、未曾有の災害が多発しており、これらの要因は、人間活動に伴う二酸化炭素増加によるものであると言われています。地球温暖化を引き起こす二酸化炭素を減らすために、世界中で「脱炭素化」や、SDGs持続可能な開発目標17項目についての取り組みが広がっています。このまま何もしていないで地球が持たなくなってしまうからだと云います。温暖化対策は個人では、一度にたくさんできないため、「できること」から取り組んでいきたい。水や電気を大切に使う、ごみの削減の工夫、資源の有効活用、緑の保全など、私たちにできることはたくさんあります。ゼロカーボンシティの実現に向けて、できることから始めましょう。

(※)区は区民・事業者等と一体となって連携・協力しながら、2050年までに区のCO2排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」実現に向けて取り組むことを、ここに広く表明します。

# ゼロカーボンシティの実現に向けて ごみ減量とリサイクルを考える



## 分科会

長引くコロナ禍にあり、「日常の生活」が今も取り戻せない状況です。ごみ集積所には、以前から比べると「ごみ袋」が多くなりました。包装容器、ペットボトル、缶など家庭から出る量は、25～30%増えているとの報告もあり、家庭ごみの減量は、差し迫った大きな課題です。区が示している令和9年度までに区民1人1日当たりのごみ量の減量484gを目指していくとしています。ゼロカーボンシティの実現に向けてごみ減量とリサイクルの対策に取り組んでいきます。

### 新宿区 令和3年度 「ごみの収集・資源の回収状況」 (新宿区ホームページ参照)

令和3年度 区民1人1日当りに換算した区が収集したごみの量 552g

〈ごみの内訳〉

燃やすごみ(可燃) 64,498t 金属・陶器・ガラス(不燃) 1,541t

粗大ごみ 2,723t  ごみの量 計 68,762t

令和9年度までに 区民1人1日当たりごみ量の量 484gを目指す



## 家庭から出るごみの抑制

食品ロス

対策例①

食品廃棄物年間2,550万トン食品ロス612万トン一人当たり(約132g)

茶碗約1杯分の食べ物を毎日捨てている。

生ごみを減らしましょう。→ごみの減量化・重量が減ります。  
計画的に買い物をする 料理は作り過ぎない 材料を無駄にせず、  
食べ残しをしない 生ごみの水切りを十分する



衣類ロス

対策例②

まだ着ることが出来る衣服が廃棄処分される「衣服ロス」新たな環境問題になっています。連日トラック130台分もの衣類が焼却処分されています。一方海外には、このように処分される衣類を重宝して、使いたいと思っている多くの人たちがいます。

世界に必要としている人に届けましょう!

もったいない

対策例③

すてないで! びん、缶、ペットボトル、容器包装プラスチックは、資源になります。

汚れを落として、それぞれ中身が見えるように区分けをして資源回収日に出しましょう



新宿区の資源・ごみの分け方・出し方を簡単に調べることが出来ます。

資源  ごみ  分別アプリを配信しています。 [さんあーる](#)  🔍 [検索](#)

問合せ先 新宿清掃事務所事業係 TEL 3950-2962 FAX 3950-2932

# ゼロカーボンシティの実現に向けて

**3R** REDUCE  
REUSE  
RECYCLE

## 3Rから考えるエコな暮らし 資源循環型社会

### ごみの減量と資源の有効活用のキーワード「3つのR」

- 1 Reduce リデュース** ごみになるものを減らす  
使い捨てになるものは買わない。  
過剰包装は断る。買い物にはマイバックを使用。  
必要な量だけ購入する。



- 2 Reuse リユース** ものを工夫して繰り返し使う  
こわれたものは修理して使う。容器は中身を入れ替えて使う。  
リサイクルショップやフリーマーケットを利用する。

- 3 Recycle リサイクル** 再生利用する  
資源ごみきちんと分別して出す。  
再生品を買う・使う。



現在の分別の決まりを正しく守れば、ごみ減量と資源の有効活用につながります。  
「ポイ捨ては厳禁」プラスチックごみ、マスクのポイ捨ては、海洋ごみの最大発生源。

### 新宿区 家庭用 資源・ごみの分け方・出し方

資源  週一回 回収	<b>古紙</b>  雑誌・本・雑紙 (雑誌、本、ノート、電子帳、チラシ、包装紙、封筒、トイレットペーパーの芯など) 新聞 (4つ折・A4サイズ) 紙バック ダンボール 種類別にひとまじりばって、出してください。	<b>製品プラスチック</b> ハンガー おもちゃ(ブロック) 歯ブラシ 風呂桶 洗面容器 定規	<b>資源プラスチック</b>  汚れが強いものは擦り出すと出してください。 危険物や劇薬 廃棄物は出さないでください。 資源プラスチック以外は入れないでください。	
	<b>容器包装プラスチック</b> 容器 ボトル (ペットボトルは除く) トレイ・バック 発泡スチロール・発泡ネット・発泡緩衝材(プチプチ)	<b>びん</b> ・飲料、食品用、化粧品用、飲み専用  水で軽くすすいでください。	<b>缶</b> ・飲料、食品用のアルミ缶、スチール缶  水で軽くすすいでください。	<b>ペットボトル</b> ・キャップとラベルは分別包装プラスチックへ  水で軽くすすいでください。

※資源回収容器(コンテナ・ネット)を貸し付けている集合住宅等は、コンテナ・ネットにバラに入れて出してください。

2024年新宿区家庭用配布資料より抜粋 新宿区 保存版 令和6年発行 家庭からの資源・ごみの正しい分け方・出し方 詳しく掲載しています。

## 参加したイベント

### ●令和6年度「新宿エコライフまつり」

令和6年6月1日(土) エコギャラリー新宿

#### 1. ごみ分別方法の紹介

この年の4月から新宿区内のプラスチックの分別方法が変わるということもあり、資源循環型社会の実現をめざす分科会としては分別の周知を図って、一度廃棄されたものも資源として再利用してもらえるように促しをかける活動をしました。

実際に新宿区で製作された周知用チラシ、パンフレットなどを陳列しました。楽しみながら覚えてもらうためにプラスチックごみの自然分解の年数をクイズ形式にして、その年数の長さから資源化する意欲向上につなげていきました。

#### 2. コンポスト展示

実際に推進員が自宅で製作しているコンポストの紹介をして普及に努めていましたが、なかなか説明だけでは難しい部分があったため、コンポストの作り方の説明書を配布できるともっとわかりやすかったかなと感じ、中には「虫が発生する」「臭いが出る」、そこから「近所からの苦情が出る」など、実際の声を伺うこともできたので「プランターを使用する」などの対策をお伝えすることもできました。

ごみとなり得るものも分別をきちんと行ったり、コンポストなどで堆肥に変わるなど資源として活用できることを、これからも啓発活動を続けていきたいと感じ、推進活動のスタートとして良いスタート地点に立てたと感じました。



## ●令和7年度「新宿エコライフまつり」

令和7年6月7日(土) エコギャラリー新宿

昨年から引き続き、①正しいごみの分別（パネル展示）、②食品ロス削減（コンポストのパネル、リボベジの展示、コンポスト作りの小冊子、堆肥を配布）、③「エコライフクイズ」（食品ロスをテーマ）を行いました。

不要になった日用品をクイズの景品として活用し、捨てられないものは誰かの必要なものになることを実感しました。プラスチック包装ごみで三角旗を作り、展示の飾りつけをしました。



## ●令和6年度 3R 推進キャンペーン「新宿 3R フェスタ」

～みんなで作る地球の未来～

令和6年11月30日(土) 新宿駅西口広場イベントコーナー

### テーマ①「正しいごみの分別」

4月から変わった資源プラスチック（容器包装に加えて製品プラスチックも収集）について、分かりやすい写真パネルを展示しました。実物のプラスチック製品や、資源に

出せるか迷う紙製品などを持ち寄って展示し、あわせてプラスチックごみのかさ削減例も紹介しました。

#### テーマ②「食品ロス削減」

- ・リボベジ（ミント、三つ葉、アボカドなど）の展示
- ・ダンボールコンポストのすすめ（パネルとコンポストの基材（材料）の展示や堆肥、コンポスト作りの小冊子を配布）

#### テーマ③「エコライフクイズ」（プラスチックの自然分解に何年かかるかをクイズ形式で実施）

会場がスタンプラリー形式となっていたため、クイズコーナー、展示コーナーともに盛況でした。多くの来場者に活動をアピールできましたが、音楽系のブースが近く、説明の音が届きづらい場面もありました。今後は、配置について検討が必要と感じました。



#### ●令和7年度 3R 推進キャンペーン「新宿 3R フェスタ」

～みんなで作る地球の未来～

令和7年11月29日(土) 新宿駅西口広場イベントコーナー

実施した内容：食品ロス削減・ごみの減量について。主としたテーマを「食品ロス」とし、展示・実演・クイズ形式で実施しました。

食品ロスを少なくするため、堆肥作りの実演を行うとともに、家庭でも取り組みやすいよう、リーフレットを作成し、配布しました。

また、ごみを減らす方法として、プラスチック容器、ペットボトル、ガラスびん等を使用した活用方法を展示し、家庭でもできるリサイクル方法を伝えました。

食品ロスに関するクイズに挑戦してもらい、ごみの減量に興味・関心を持って取り組んでもらうきっかけづくりをしました。

来場者の多くはクイズに参加し、家庭でも簡単にできる堆肥作りに興味・関心を示していました。シクラメンの幼苗と、生ごみをリサイクルする「アスカマン」を、希望者に配布しました。



●令和6年度 新宿SDGs フェス 2024 まちの先生見本市

令和6年12月21日(土) 新宿中央公園 芝生広場

テーマ①「正しいごみの分別」

テーマ②「食品ロス削減」

テーマ③「エコライフクイズ」

令和6年11月30日の「新宿3R フェスタ」と同様のパネルを展示し、コンポストでできた堆肥や小冊子の配布、クイズなどを行いました。広々した芝生広場では、多くの団体や企業が参加しており、交流ができ大変有意義でした。特にワークショップブースが人気で、体験しながら学べるメニューを今後考えていきたいと感じました。



## ●令和7年度 新宿SDGs フェス 2025 まちの先生見本市

令和7年12月20日(土) 新宿中央公園 ファンモアタイムひろば

今年度の「新宿SDGs フェス 2025」は、ファンモアタイムひろば(水の広場)で開催されました。途中小雨に遭う場面もありましたが、幸運なことに穏やかな日和となり、ほっとした一日となりました。

「資源循環型社会の実現をめざす」分科会では、11月29日(土)に「新宿3Rフェスタ」で実施した、食品ロスを減らすための堆肥作りを実演しました。「捨てるごみはない！」をテーマに、ごみの利用方法について周知、啓発に努めました。

食品ロスのクイズには、家族連れや、外国の方などが訪れ、興味・関心を持って取り組んでいる様子が伺えました。クイズに挑戦していただいた方々には、3R啓発用のポケットティッシュを配布し、希望者にはシクラメンの幼苗や生ごみをリサイクルする「アスカマン」、堆肥作りの資料をお渡しし、植物を育てる楽しさを味わっていただけるよう努めました。

これは、CO<sub>2</sub>削減につなげることも目的の一つです。

また、ペットボトルやびんの再利用法、資源にならないごみの見分け方を伝えることで、適正な分別がごみの減量・削減につながることに気付いてもらえる機会となりました。



## まとめと今後の課題

新宿区では、区民と事業者が一体となって連携・協力をしながら、2050年までに、区のCO<sub>2</sub>排出量の実質0を目指す「ゼロカーボンシティ」に向けて取り組んでいます。

分科会では、「資源循環型社会をめざす」をテーマに活動を推進してきました。

私たちを取り巻くごみの現状は、人口の増加と生活スタイルの変化により、事業者から排出されるごみや家庭から出るごみの量が増え、収集場所のごみの量も多くなっています。

ごみ問題には、地球温暖化に影響を及ぼす要因が多く潜んでいます。気温の上昇が引き起こす異常気象は、人の命や健康に深刻な影響をもたらします。

身近に迫る環境問題に対し、一人ひとりが問題意識をもって解決に向けて取り組んでいくことが大切です。分科会としては、環境にやさしいこと、未来に向けて私たちにできること、ゼロカーボンシティに向けて3Rから考える暮らし(循環型社会)を継続的に取り上げて実践を重ねてきました。

2年間を振り返ってみると、社会情勢を知るという点から、学びの場がもう少し必要であったと感じています。新宿区のごみ問題がどのような状況にあるのか、区の情報を的確にキャッチして、ごみ問題をより良い方向へと実現を果たしていくことが大切です。ゼロカーボンシティに向けた取り組みを今後さらに深め、実践していかなければなりません。

ごみ問題は深刻で、終わることなく続く課題だと思います。私たちができることを多くの人たちに伝え、ごみ減量と資源の有効活用を目指して、今後も活動を進めていきたいと思っています。

# ～エコライフ推進員の個々の活動報告～

## 新宿グランドターミナル構想について

明治18年（1885）3月1日 日本鉄道の駅として開業した新宿駅は、今年140周年を迎えました。初めの頃は、ほとんど乗降客がいないのどかな駅だったようです。今では一日の乗降客数は340万人余り、各地への高速バスは毎日1200台発着という巨大な駅へと変貌しました。

その巨大すぎるがゆえに多くの問題点も見受けられるようになり、新宿グランドターミナル構想がもちあがり、ヒト（人）中心の街へと変化しつつあります。

### 新宿の拠点再整備方針の概要

- (1) 更新期を迎えた駅ビルの建替えを契機として、誰にとっても優しい「新宿グランドターミナル」とするため、駅、駅前広場、駅ビル等を一体的に再編整備する。
- (2) グランドターミナルとまちを結び付け、人々の交流が生まれる歩行者ネットワークを構築するため、東西のまちをつなぐ線路上空デッキの新設や歩行者優先の駅前広場への再構成などを行う。
- (3) 人々の連携を促し、賑わいを生み出すため、グランドターミナルの顔となる空間を随所に配置し、新宿らしい様々な都市活動が展開される場を創出する。
- (4) 誰もがチャレンジできる環境を整えるため、インキュベーションなど新たな挑戦を生み出す都市機能を積極的に導入し、新宿の持続的な発展に結び付ける。
- (5) グランドターミナルの再編を契機として、その周辺の機能更新を促進し、新宿駅周辺地域全体として質の高い国際交流拠点を形成する。

（東京都都市整備局HP）

上記理念を一言で表すと、「昭和30年代に建てられた新宿駅（東口ルミネエスト・西口メトロ会館・小田急百貨店・京王百貨店）が更新時期に近づいたので建て替えると同時に周辺の街も、人（ひと）中心の街へと大改造します。」となると思います。

東口については、令和7年12月1日現在具体的な発表は無いので、現在目に見える形の西口について考えてみました。

小田急百貨店とメトロ会館の共同ビルは48階建て高さ260m、2029年度完成予定です。

京王百貨店とJR東日本で共同するビルは、37階建て高さ225m←応札社無着工期不明

ルミネと京王百貨店共同ビルは、2040年代完成予定

そのような中で、西口駅前は、令和7年9月に南北通路が遮断され本格的な工事に着工したので概要図と解説を入れます。



図解説：(基本的な基盤イメージなので変更する場合があります)

令和7年9月までは青梅街道⇔小田急百貨店⇔京王百貨店⇔甲州街道へ交互通行できましたが、9月からは交通遮断され、ヒトに優しい広場造りの第一歩が踏み出されました。

具体的には、

- ・青梅街道から来た車は、バス停までは通行できるがその先は青梅街道に戻る。
- ・甲州街道から来た車は、京王プラザホテル方面にしか行けない。
- ・京王プラザホテル方面から来た車は、甲州街道しか行けない。
- ・地下パーキングへは、スバルビル跡地にあるスロープで出入りする。

となり、車中心の西口から、大きく変化しています。

まとめ

従来車中心だった街区を、ヒト(人)中心の街区へと大胆に変貌させる試みが始まり、生き生きとした未来が見えるような気がしています。

## 再生可能エネルギーとは

### 1. 再生可能エネルギーの定義

再生可能エネルギー（Renewable Energy）とは、太陽光や風力、水力、地熱などの自然界に常に存在するエネルギーのことです。

これに対して、埋蔵量に限りのある石油、石炭、天然ガスなどの化石燃料、ウランを使用する原子力などのエネルギーは枯渇性エネルギー（Exhaustible Energy）と言われています。

法律の上では、再生可能エネルギーについて、エネルギー供給構造高度化法（エネルギー供給事業者による非化石エネルギー源の利用及び化石エネルギー原料の有効な利用の促進に関する法律、2009年8月施行）において、下記のように規定しています。

- (1) 定義：非化石エネルギー源のうち、エネルギー源として永続的に利用できると認められるものとして、①太陽光、②風力、③水力、④地熱、⑤太陽熱、⑥大気中の熱その他の自然界に存在する熱、⑦バイオマス（動植物に由来する有機物）の種類があります。利用形態として電気、熱、燃料製品があります。

主な再生可能エネルギー発電の特徴

名 称	発電効率	Loco <sup>2</sup> gCO <sup>2</sup> /kWh	立地条件
太陽光発電	15-20%	38	日当たりのよい場所
風力発電	20-40%	25	ガゼが安定して吹く場所
中小水力	60-80%	11	豊富な水量や落差がえられる場所
地熱発電	20%	13	る場所
太陽熱発電	20-40%	-	火山帯や温泉のわく場所
バイオマス発電	20%	-	日当たりのよい場所 資源物が得られる場所

### 2. なぜ再生可能エネルギーか

#### (1) 環境

##### ① 地球温暖化防止

産業革命（18世紀後半）以降は大量の石油石炭などの消費で二酸化炭素（CO<sup>2</sup>）などの温室効果ガスが増加して、地球温暖化を引き起こしています。CO<sup>2</sup>の排出量が最も多いのは火力発電による石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料の燃焼によるもので全体の4割を占めています。

## ② 生活環境の保全

化石燃料の消費は、CO<sup>2</sup>の排出だけでなく、様々な大気汚染物質を排出して、人間の健康や動植物の生態に悪い影響を与えます。公害対策が進み改善されましたが、目に見えにくい形で、大量の化学物質が大気中に放出され続け、人々が健康に暮らす権利を脅かしています。

## (2) エネルギー

### ① 原子力依存からの脱却

原子力発電は、火力発電同様に地下資源を利用するものですが、燃料の量は火力発電と比べてもとても少ないのが特徴です。しかし原子力技術は、人類による科学技術の進歩がもたらした賜物ですが、社会はいまだに制御できる段階にはありません。

今、政府による「2050年カーボンニュートラル」（温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすること）の目標に呼応して、産業界でも新たな燃料への転換が模索されています。

### ② エネルギーの自給自足

日本はほとんどを化石燃料による火力発電に依存しており、すべて輸入に頼っています。自給率は、主要国の中で最低レベルにあります。しかし、産油国は巨大な権利を背景に政情は不安定で、石油や石炭などを枯渇性エネルギーというように、採掘可能な埋蔵量に対する不安も指摘されています

## (3) 経済

### ① 大量生産・大量消費の見直し

国は、2050年カーボンニュートラルの目標の下、2030年を目標に「ガソリン車販売禁止」を打ち出し、電気自動車（EV）の普及を急ぐ計画です。また、リニア新幹線も2027年開業を目標に建設が進められています。

電力の大量消費を、火力発電で支えないとすると、どうしても原子力発電の稼働を進めざるをえません。この大量消費を、2050年までにすべて再生可能エネルギーで賄わせようとすると、環境保全とのバランスで深刻な問題を引き起こす可能性があります。

再生可能エネルギーの普及は、大量生産・大量消費を代替させるためではなく、日本の経済構造や人々との生活様式を変えていく努力とともにあるべきでは無いでしょうか。

### ② 地域経済の活性化

再生可能エネルギーの生産には、原動力となる資源が生産拠点の近くで豊富にとれることが求められています。

このことを生かして、普及が求められている再生可能エネルギーを生

産し、流通させることができるのであれば、地域経済の活性化につながることはできると思います。

近年では、日本の地方、とりわけ農山漁村地域やその中心地であった小規模都市で、人口減少と高齢化、それに伴う自治体の財政難など、地域社会の疲弊に会えています。再生可能エネルギーの飛躍的普及が求められている状況は、地域社会活性化への好機として捉えられています。

電源立地地域対策交付金などにより、少なからず地域社会に恩恵がもたらされてきました。

中央の資本が、地方の資源を電気に変えて、送電網を通じて中央にすべて吸収し、その利益を独占している構造があります。

今日の再生可能エネルギーをめぐっても同様な問題が指摘されています。多様な業種・業態の企業が、土地の安い地方に進出して発電所を開発し、中央に電気を送り込んでいます。開発の利益が地元還元されないことに対する不満が出されています。

再生可能エネルギーは、「持続可能な豊かな社会」を実現するために大きな期待が持てるエネルギーです。しかし、その普及のあり方をめぐっては、様々な課題があります。

## みどりのカーテン

つる性の植物は、水分を蒸発させるそのときにまわりを冷やす蒸発効果があり周囲をすがすがしく涼しさを感じさせてくれます。温暖化防止につながります。地域の人達と「ゴーヤみどりのカーテンプロジェクト」のチームを6月に立ちあげました。場所としてビル建物の軒下を利用してプランター4個とネットを用意して、プランター1個に苗を2株ずつ植え付けして合計8株の栽培をはじめました。その成果は7月頃より周囲に涼風を送り、また収穫したゴーヤは地産地消として地域の「食事の会」に提供しました。食事の会のみなさんは、ゴーヤを使った料理は猛暑夏バテに強く元気がでる（ビタミンCが多い）とよろこばれ次回の提供を期待されます。期待にこたえ次回もがんばりましょう。

作業 5月 プランター、ネット準備  
6月 土の手入れ、苗植え、除草  
7月 水やり、摘芯、収穫  
8月 水やり、害虫駆除、摘芯、追肥、収穫  
9月 水やり、収穫、除草  
10月 片付け、次回への準備

## 行い

昨今、気象変動の激しさは地球からのメッセージと捉えています。

長年エコライフ推進員に参加し知識が増え、日々の暮らしに活かせております。

ゴーヤ含むみどりのカーテンの生育、公共空間での冷暖房共有、涼の為、Tシャツ、ショートパンツ、ビーチサンダル、そして暖を取る重ね着など衣での調整、銭湯或いは地域交流館での風呂利用、食品くずの堆肥化、見切り品購入、歩行を心掛ける、戸山公園そして新宿御苑での自然の活用、節電、節水、ゴミ軽減、これらの事柄を取り入れております。

コンクリートジャングルから大地への復元、先人が築いた知恵を取り入れた日常、そして便利過ぎる今からひと手間加えた時間の築き方に重きを置き、人類のこれからを注視していきたいです。

## 「水」と「緑」のまちづくり

今回のテーマは、「水」という事で6回にわたって活動してきたが、区の中には新宿御苑や公園、寺などが多くあり緑は沢山あると感じたが、川などの水に関してはあまり多いとは感じなかった。蟹川が暗渠となったことから必要のない川と判断して道路や住宅が建ち、都市化して無くなっていったのだと思う。昔から川の周辺から文化が発達し、そこに人々が集まり、暮らしに必要な住宅や土器、武器などを作って生活していたのだろう。しかし、今は上下水道が発達し、川としての役割が変わってしまったからだと思います。蟹川を開渠してもあまり意味がないと思われれます。

話は変わりますが、今、牛込柳町周辺で大規模な道路拡張工事が大々的に行われています。これは30年以上も前から計画していたものがようやく着工している次第です。そこで歌舞伎町に道頓堀川のような川を造るのはとても無理な事だと思う。地上に道路や鉄道を引くより無理だと思う。それより、地方で良くある様な道路脇に水路がある様にして、生活水以外の憩いの場になる様にしたらどうでしょうか。《萩・津和野など水路に鯉が泳いでいるように》

私達は普段生活していて、ヒートアイランド現象について考えながら生活していないと思う。しかし、地球温暖化により台風は年々大型化して各地で被害が大きくなり身近に感じる様になっています。水は少なくとも多過ぎても困ります。昔は神田川も大雨ですぐ溢れ床下浸水して大変でした。でも、今は川の脇の地下に貯水場が出来て一定の水位になると、そちらの方に流れて住宅地の方には来なくなりました。そこで、妙正寺川を歩いた時、川が増水した時、調節池としての機能を兼ね備えた公園を思い出しました。河川の水を貯留し、妙正寺川下流の安全性のためです。是非機会があったら見てみたいと思いました。

次はどこを歩きましょうか。

## みどりのカーテンで節約

令和6年新宿「みどりのカーテン」プロジェクトに参加しました。しかし、いただいたゴーヤの苗を持ち帰るとき、1本折れてしまいました。そこで、残念ながら里子に出すことにしました。ゴーヤは雌花と雄花があり、昆虫か人の手で受粉しなければならないからです。知人がゴーヤを数本育てることになったので、受粉するために預けることにしました。

自宅の「みどりのカーテン」としての室温低下にはならなかったが、ゴーヤを通じての交流も楽しいものです。夏の暑さは凄くて秋になっても暑さは継続し、ゴーヤも暑すぎたようで、あまり実がなりませんでした。

ご近所の方が育てている「みどりのカーテン」フウセンカズラの種をいただきました。黒い種に白いハートが特徴の可愛らしい種です。こうして「みどりのカーテン」を通じて知り合えることがとても楽しい喜びでもあります。令和7年の夏も暑かったのですが、昨年よりも少しは過ごしやすかったのは、慣れたからかもしれません。

今年は「みどりのカーテン」プロジェクトに参加できなかったのですが、我が家のみどりのカーテンは朝顔にしました。毎朝のように花開く朝顔を見ると、優しい気持ちになります。10月になっても毎朝綺麗な朝顔が咲いてくれたのは、今年も暑かったからでしょう。毎年朝顔のこぼれ種から芽が出るのも、細やかな楽しみです。また、採取した朝顔の種を差し上げることで、新たに交流が広がると思うととても嬉しいです。

新宿区民としては「みどりのカーテン」を育てることに高いハードルを感じています。戸建てに住むのは約2割、マンションのベランダでは制限も多くて「みどりのカーテン」プロジェクトにお誘いするのですが、育てられないと断られることもありました。

実際に育てた経験から、特にゴーヤの葉は蒸散作用を体感しやすく、気温の違いがわかりやすい植物だと思います。晴れた夏の朝、ゴーヤの葉の影で水やりをされていて「今朝はあまり暑くないから、過ごしやすいわ」と安心していたら、ゴーヤの影から出た途端「暑い！こんなに暑いなんて、ゴーヤのありがたさが身に染みるわ」なんてこともありました。

温度計で計測しなかったなのでその差がどのくらいあったのか数字ではわかりませんが、体感に過ぎずかどうかは明確にわかるほどでした。エアコンの省エネルギーに効果があることは間違いありません。

そして、副産物のゴーヤは食卓にも並べられる夏の野菜です。新鮮取れたてのゴーヤは物価高騰時の家計の味方でもあります。素人がプランター栽培で育てる分には飽きるほど収穫できることもなく、葉っぱの天麩羅は家庭菜園で育てなければ、食べられないご馳走です。季節の野菜を食べることは健康への一歩だと思います。

これからも小さな活動を通じて、エコを実践していきたいです。

## 「ゼロカーボンシティ」に向けての取組みと普及活動

地区の町会・自治会 わがまちだいすき!

広報「ふれあい情報誌」に「ゼロカーボンシティ」に向けての取組を紹介

第17号 2024年7/14発行 憩いの広場 前庭花壇整備 6/11(火)

第18号 2024年12/28発行 前庭花壇の整備 11/12(火)

第19号 2025年3/31発行 新宿3R フェスタみんなでつくる地球の未来  
ごみの削減と資源の活用のキーワード

リデュース リユース リサイクル 私たちにできることをはじめましょう!

第20号 2025年7/8発行 花いっぱいプロジェクト紹介 (区立中学校)

前庭花壇整備 6/10(火)

第21号 2025年12/28発行 若松花いっぱい運動 10/26(日)

みどりの講座 ～季節の寄せ植え作り～ 前庭花壇整備 11/11(火)

地球が熱い! 異常気象の増加 ～緑と花いっぱいあふれる街づくり～

CO<sub>2</sub>削減と地球温暖化につながります。

### 町会の資源回収

指定の日時に、月一回の資源回収を行っています。町会の人たちに古紙、段ボール、缶、古着などを出していただき、回収業者に引き渡しを行っています。ごみとして出せば、ただのごみ、資源として出せば再利用につながります。

### 施設訪問

エコライフ推進協議会・3R推進協議会実施の施設訪問に参加し、事業所のごみ対策について学びました。

### 地域開催の催し

区長と話そう～しんじゅくトークに出席し、テーマ「資源循環型・脱炭素社会の実現に向けて」区が抱えるごみの実情と対策を知り、今後に生かそうと思いました。

### パネルを作成

ゼロカーボンシティに向けて「資源循環型社会をめざす」活動に生かすことが出来るように、パネルを作成しイベントに展示し活用しました。

## 私の生活を変えたコンポスト

役割をよく理解せず、気軽にお引き受けしたエコライフ推進員でしたが、この2年間のおかげで我が家の生活は激変。実に楽しく、充実した日々を過ごさせていただきました。

### <生ごみは生資源だ！>

第1回の協議会で、メンバーの一人がこう言いました。「生ごみは生資源ですよ。私はコンポストで堆肥を作っている。簡単ですよ！」と。——生ごみは生資源か。よし！これから“生ごみ”と呼ばず、“生資源”と呼ぼう！コンポストにも挑戦してみよう！

感化されやすい性格の私は、エコライフ推進員としてコンポストを試し、その経過を報告していこうとその場で決意しました。

### <驚き・感動・笑顔の高倉式コンポストとの出会い>

生ごみのリサイクル技術を世界に広げている高倉弘二さんの「高倉式コンポスト」をネットで調べ、試すことにしました。

その特徴は——①基となる材料が手に入れやすく、リーズナブル。②生ごみの分解を促す発酵液も簡単に手作りできる。③案外、適当でよいことです。

育て方のコツは——①なるべく投入する生ごみは細かく切ってあげる（ここで気づいたことは細かく刻むと野菜のほとんどは食べられること）②時々ごちそう（発酵液、米ぬか、腐葉土など）を足してあげる。③1日の投入量は500g位を目安にセーブしてあげる。④よくかき混ぜることです。

そして一番大切なポイントは、コンポストをペットのように可愛がることです！

2024年5月14日、我が家のコンポストは「こんちゃん」と名付けられ、狭いベランダで誕生しました。

「驚き・感動・笑顔」これは高倉さんが、人に何かを伝える時、大切にしているモットーです。

基材を整え、4日もすると、土の表面は白カビに覆われていました。上にかぶせていた新聞紙は汗をかいていて、土は発熱し、50℃近くになっていました！生ごみを投入し、2～3日経つと分解されて形がなくなっています！まさに驚き・感動・笑顔です。本当にこんちゃんはすごい！

2024年6月1日の「エコライフまつり」では、この感動をエネルギーに、5枚のパネル（48頁（上の5枚）参照）を作り、コンポストの基材と、堆肥化した我が家の土を展示しました。興味を持って下さる方に感動を伝えました。

11月の「3Rフェスタ」、12月の「まちの先生見本市」では、6月の経験を活か

し、パネルを2枚（48頁（下の2枚）参照）にスリム化し、コンポストづくりの詳細を小冊子にして配布できるようにしました（46～47頁参照）。「まちの先生見本市」はSDGsに取り組む多くの団体、企業の方々と交流でき、大変刺激になりました。また外国人の方も多く、せめて主だったパネルには英語表記の必要性を感じました。

皆さん共通して、コンポストに興味は持っていますが、臭いと虫の発生を心配し敬遠しているようでした。生ごみは放っておけば腐敗して臭います。コンポストはその臭いを消しこすすれ、よけい臭くなることはありません。発酵・分解している土の臭いは悪臭ではありません。小バエも寄ってきますが、小バエには腐敗物の分解・植物の受粉を手伝うという役割があります。小バエが寄ってくる時期も一年を通してみると一時期なのです。

コンポストを通して自然界のいきものの役割を考えるきっかけにもなりました。

### <生ごみは、ほぼゼロにできる>

ジャングルのような我が家のベランダは、今、みかん箱ほどの段ボールコンポスト3基だけとなり、洗濯物がゆったり干せるようになりました。大好きな草花はマンションの共用花壇に移し、できた堆肥を混ぜて育てています。

今後、町会や地域の中でコンポスト仲間を増やす工夫をしてゆきたいと考え中です。

我が町会では、夏まつりや防災訓練などの「イベントごみゼロ」をめざしています。初めは面倒でも、洗浄・分別を徹底し、皆で1袋ずつ「自分のごみ」として持ち帰り、責任を持ってごみ出しをしています。清掃事務所から「ごみ処理券」を頂いて、分別しきれないまま出していた大量のイベントごみが、今ではゼロになりました。それに反比例して集団資源回収の収益金は2倍になりました。皆で言い続け、自分が率先して行動し続ければ結果は出てきます。

春から初夏はコンポストの分解も活発で、小バエも元気です。真夏は虫も寄らず、カラカラです。冬期はととても静かで、分解はゆるやかです。

段ボールコンポストを始めて約2年。我が家の生活はこんちゃんと共に変わりました。我が家の生ごみは、ほぼゼロになりました。

生ごみを資源に!!

ダンボール  
**コンポスト**  
始めませんか?

わが家の  
生ゴミが **0** になる?!

ほぼ

新宿区エコライフ推進協議会  
資源循環型社会の実現をめざす分科会

生ゴミを資源に変える  
**コンポスト**って何?


コンポストとは「堆肥(Compost)や「堆肥を作る容器(Composter)」のことです。微生物の働きで「生ゴミ」が発酵・分解し、「堆肥」に変身するのです!

「燃やすゴミ」の4割は「生ゴミ」と言われています。その「生ゴミ」を捨てずに済むなんて素晴らしいと思いませんか?

コスト削減! CO2削減! その上、できた堆肥を家庭菜園や園芸に利用できるんです!

これこそ私たちがめざす「循環型社会の実現」ですよ!

②



いろいろなタイプのコンポストが販売されていますが、ここではベランダでも手軽に始められる「ダンボール・コンポスト」をご紹介します。「高倉式コンポスト」を参考にしています、検索してみてください。驚き!感動!笑顔!が広がるコンポストにあなたもぜひ挑戦してみてください。

今日から  
「生ゴミ」と呼ばないで  
「生資源」と呼ぼう!!

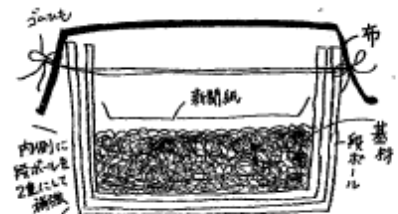
③

ダンボール  
**コンポスト**の材料

身近にあるもの  
でできる

容器

- 1 ダンボール箱 みかん箱位の大きさ  
内側をダンボールで二重に補強する。
- 2 新聞紙 虫の侵入を防ぐため  
基材の上にかぶせる。
- 3 布、  
ゴムまたはひも 虫の侵入を防ぐため  
ダンボール箱を布で覆い、  
ゴムやひもで止める。



④

### 基材

基材とは生ゴミを投入していくための土です

腐葉土 + めか + 発酵液

- ①箱に半分ぐらいの腐葉土を入れる。
- ②腐葉土の1割ぐらいのめかを入れよく混ぜる。
- ③発酵液を入れ、固さを調整する。(ギュッと握って固まるくらい。)水を足してもよい。

ポイント **かんたん!**

#### 発酵液(500ml)の作り方

- 水…500ml  
 砂糖…大さじ2  
 ヨーグルト…大さじ3  
 きのこの石づき…みじん切り  
 適量
- 容器のフタをゆるめ、常温で2~3日放置すると発酵液完成!



⑤

### ダンボール

毎日分解ありがとう!

## コンポストの育て方

〈ステップ1〉生ゴミを入れる!

腐葉土+めか+発酵液を混ぜた土は3日~1週間経つと白い菌が繁殖してきます!これで発酵床の準備OK!生ゴミを投入しましょう!

- ①生ゴミの量は1日500gをめやすに!なるべく小さく切って!
- ②1日1回空気をいれるようにかき混ぜて!
- ③水で土の固さを調整。
- ④分解・発酵が活発になると温度が上がります!(分解・発酵の促進には、めかや廃油、発酵液を足してあげましょう)



⑥

〈ステップ2〉熟成させる!

- ①ダンボールが一杯になったら(3ヶ月くらいかかる)別のダンボールに半分を取り出し、生ゴミの投入をストップ。
- ②分解していない生ゴミが完全に分解するまで、水分調整とかくはんを続け熟成させる(2週間くらい)
- ③残しておいたコンポストには引き続き生ゴミを投入していきます!



⑦

## コンポスト 番外編

### 不安・心配に答えます



1. キッチンでの生ゴミ管理を徹底する  
フタ付きのポリ容器(500ml)などを用意しましょう!三角コーナーに入れっ放しはNG!小バエがすぐ卵を生んでしまいます。
2. 分解・発酵が順調なら生ゴミ臭はしません!基材に生ゴミを入れた瞬間に臭いは気にならなくなりますヨ!
3. 万が一虫が大量発生したら、黒いビニール袋に基材を全部入れ、日向に放置する。

コンポストの作り方をパネルにして展示

「生ゴミ」なんて呼ばないで  
 私たち「生資源」なんです!!

驚き!感動!笑顔!が広がる  
 高倉式  
**コンポスト**  
 実験中!!

わが家の生ゴミが0になる?!

ほぼ

身近なもので作ろう!!  
**コンポストの材料**

- ダンボール箱、新聞紙、布、ゴム
- 腐葉土 \* 温度計があると発酵の様子が判る
- 米ぬか \* カゴ、等のこなど(ぬ通し)
- 発酵液 \* 利生剤(マリンア)

**発酵液を作る**  
 ...コンポストの発酵を5日発酵菌を増殖させる

- ヨーグルトなどの発酵食品 **ポイント**
- きのこ(石づき部分ではない)
- 砂糖水 **BUC-01000**

発酵菌(酵母) 炭酸菌 担子菌  
 ヨーグルト 腐葉土 きのこ類  
 味噌 納豆 発酵食品 木屑(全粒?)  
 塩麹、しょう油 さいばり粉

生資源の分解に必要な3種の菌

**コンポスト育て方**

- 毎日、出る生資源を投入
- 毎日、1回 空気を入れよ(かきまぜる)
- 毎日、水分を調整する(にぶ7割位)
- 土の温度、表面の様子、臭い、虫など土の様子をチェックする

虫が発生したら、土を全部黒ビニールに入れ日当りに置く。

生ごみを資源に!!

ダンボールコンポスト! 始めませんか?

わが家の生ゴミが0になる?

ほぼ

生ごみを資源に!!

ダンボールコンポスト! 始めませんか?

わが家の生ゴミが0になる?

ほぼ

新設区エコライフ推進協議会  
 資源管理推進会の承認をうけた特許

**生ゴミを資源に!!**  
 Turning food waste into a resource!!

ペランダでも手軽にできる  
**ダンボールコンポスト**  
 Card board Compost  
 It can easily be done on the veranda.

燃やすゴミの4割を  
 リデュース  
 これが減らせるのだ!!  
 Single garbage can be reduced by 40% !!

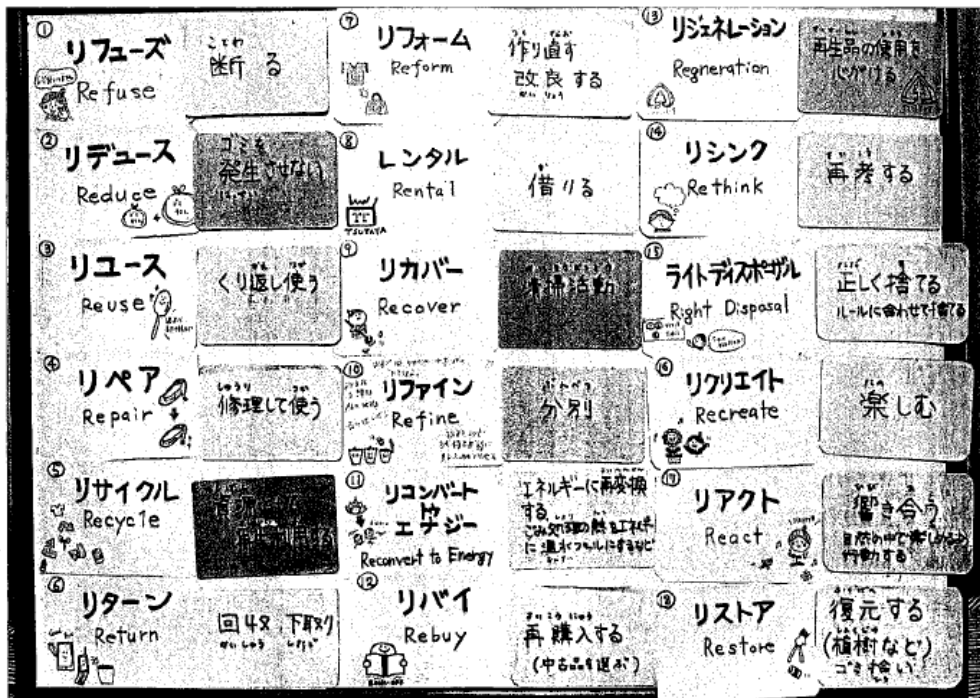
**コンポストの材料**  
 容器(ダンボール箱、新聞紙、布、ゴム)  
 基材(腐葉土、米ぬか、発酵液)

**コンポストの育て方**

- ①基材の中に生ゴミを投入、よくかきまぜる。
- ②水で土の固さを調整する。
- ③時々発酵液、ぬかを足し分解・発酵を促す。

# 「18R合わせカード」

(ポスティングされるマグネットカードを利用して作ったもの)



## 令和6年度 新宿エコライフまつり

第11期の1年目の令和6年6月1日(土)にエコギャラリー新宿にて開催されました。新宿いきもの分科会は、身近な自然・いきものをみつけようと、新宿区の花つつじを見つけようのパネルを展示しました。大都市新宿にみどりをいかに多くのこせるのか、どのようにしたら身近にきれいな花をのこせるのか?そこで昭和47年(1972年)に新宿区の花となった、きれいな花とたくましい緑の葉のつつじを区民の皆様と見つけようマップを作製して、新宿にいるいきものマップを見つけようとなりました。新宿区の花つつじは大久保地区には多くのこっていました。大久保つつじとって江戸時代より歴史と文化を受け継いでいます。江戸時代江戸幕府が安定してきて平和な時代になりました。平和を求めている江戸庶民は園芸植物を育てることが流行しました。大久保地区鉄砲組百人隊の同心たちは、平和になり俸禄(給金)がある見込みもなく、彼らは家計の足しに副業として美しい花つつじの栽培を始めました。やがて副業だったつつじの栽培は江戸中に知れ渡るほど大久保つつじは有名となりました。江戸時代が終わり、明治時代になり、大久保つつじは土地の払い下げにより、一時期荒廃しました。明治6年(1873年)に東京府知事はつつじ園を元の姿に戻すように提案しました。共同経営でつつじの名所を再興することになりました。10年後、明治16年につつじ園を開設しました。明治20年には7園が開設し、全部で1万株数といわれています。この時期が再興を榮した大久保つつじの最盛期でした。明治32年には明治天皇がつつじの鑑賞に訪れ、「まがねしく 道のひらけて つつじ見に行く人おほし 大久保の里」という歌を詠まれました。現在でも皆中稲荷神社境内入口に、その歌碑があります。江戸時代から明治にかけて歴史と文化がある新宿区の花「つつじ」を新宿区民の花として新宿で植樹するのが大都市新宿で次世代に緑を残す方法です。



## 「まちの先生見本市」に参加して

2024年度の「まちの先生見本市」に、エコライフ推進協議会の「いきもの分科会」として、ワークショップに参加しました。

12月21日土曜日、穏やかに晴れてポカポカ陽気のもと、沢山の親子連れが来場していて、クリスマスリース、クリスマスツリー、雪だるま作りを楽しんでもらいました。クリスマスリースは紙皿の中をくり抜き、周りに落ち葉を押し花にして飾りました。

クリスマスツリーは、松ぼっくりにマジックを塗って、雪だるまはくり抜いた紙皿の中を使って作り、楽しんでもらいました。

子供さんが作るのをそっと手伝う親ごさんや一緒になって作っている親ごさん等、ほのぼのとした光景にスタッフもいやされました。この「まちの先生見本市」は、以前は学校に伺い、授業の一環として行われていたようですが、親子で一緒に作るという作業をするのは、いい思い出になると思いました。

樹木は、人間の出す二酸化炭素を吸収してくれるだけでなく、新緑、若葉、青葉、紅葉、落葉と楽しませてくれています。最後は押し花になり、「いきもの分科会」としては「いきもの」の存在の偉大さを改めて感じます。そして、何気ない日常において、沢山の「生きもの」に助けられている事に感謝します。

## 大樹は野鳥のオアシスだ

東京は江戸時代の「参勤交代」による大名屋敷跡地が残されたことや、皇居や明治神宮など皇室に関わる広大な施設が緑の源泉になっているといわれている。新宿では新宿御苑が豊かな緑が楽しめる都会の憩いの場となっている。

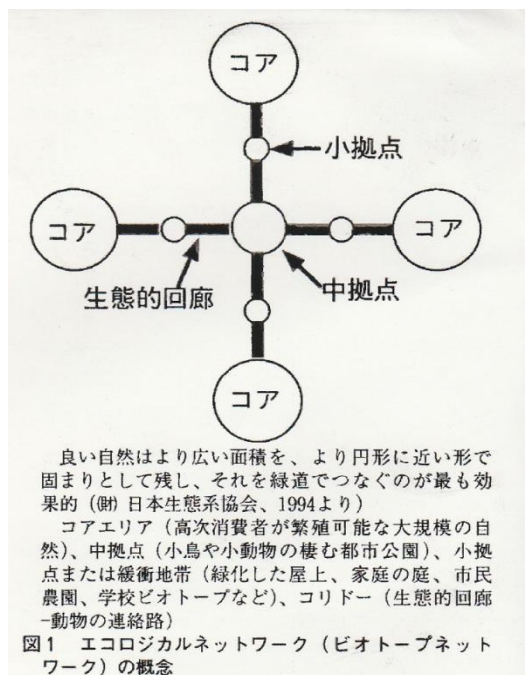
新宿区は北に向かって標高が高くなる地形となっていて、私が住む下落合は区の北部に位置し、我が家からは区のかなりのエリアを眺望することができる。緑地は東西に流れる神田川の北側の目白崖地沿いに多く分布していて、神田川の上流側から薬王院、氷川神社の林、おとめ山公園の森、学習院の森へと繋がっている。40年近く当地に住んでいるが間違いなく空間に緑の占める面積が時間の経過とともに大きくなっているように感じる。



私の住むマンションから見下ろす真正面に高さ 10mにもなろうかという大きな木がある。この木に毎日様々な野鳥がやってきて目を楽しませてくれている。なかには原色の際立つ渡り鳥と思われる鳥もいる。

私は以前、生態系の専門家の講演で東京の緑について「明治神宮から新宿御苑、神宮外苑を経由して皇居にいたる緑の連携はエコロジカルネットワークの観点から多様な生物の生育環境に好ましい」との話を聞いたことがある。

この木は、鳥たちのオアシスとなってコアとなる緑地の間を繋ぐ重要な拠点となっているように思える。大きな樹木には生態系にとって大切な役割があることを実感している。ちなみに、この木は新宿区の緑の文化財(保護樹木)となっている。



## 活動について考えよう

活発に動いたり、働いたり、いきいきと行動社会に出て活動する意見会で、社会生活空間を共有、相互に結びついたり影響を与えあったり、目的をもつ人々のまとまりです。

永年活動しているとマンネリ化になり振り返り（反省）出発点とした。

☆常に好奇心を忘れることなく活動に積極的に参加、自分の為人の役に立つ行動を心がける。

☆ボランティア同様の生涯体験学習に取組、実践する。

☆目的事項の推進普及啓発活動を広げる地域コミュニティー。

### 【活動20年の実践と内容】

(1) 【趣味】 専門としてではなく、楽しみにすること。

(2) 【ボランティア】 自発的にある活動に参加する人。特に社会事業活動に無報酬で参加する人。

(3) 【コミュニティー】 人々が共同体意識を持って共同生活を営むおよび、その人々の集団。地域社会。

(4) 【レクリエーション】 仕事や勉強の疲れを癒し、元気を回復するために行う娯楽。

(5) 【活動目標内容】

○ゼロカーボンに向けて

○持続可能な開発SDGs啓発

○新宿3R活動で、企業・自治体・市民の連携で共創する循環型地域づくり

<p><b>活動報告発表会資料</b></p> <p>活動の思いを振り返り（反省）をしました。</p> <p>普段から思っていることを取り上げました。          ◇常に好奇心を忘れることなく活動を積極的に参加、自分の為、人の役に立つ行動を心かける。          ◇ボランティア同様の生涯体験学習に取組、実践している。          ◇活動目的事項の推進、普及啓発活動を広げる地域コミュニティーです。</p> <p>【活動内容】2020年度全て事業活動はコロナで中止。2021年度は事業計画、予算書提出。課題として、SDGsを取組活動、行動するきっかけが見つかる手助けになればと思います。</p> <p><b>1 公園サポーター活動</b></p> <p>第1段9期活動報告書（中間報告）令3年3月に記載          第2段続きを写真添付にて作成予定です</p> <p><b>2 落二地区協議会事業活動提案内容</b></p> <p>事業名：歩行会 東京展望 事業目的：健康維持          事業内容：キューバ大使館-東京タワー展望台-増上寺 実施年月：2022年3月</p> <p><b>3 地区協議会 環境活動学習会 発表</b></p> <p>活動内容(1)・(2)は原稿作成済みです。          昨年はコロナで事業は中止、学習の機会を得、会員要請のため、説明・発表します。          第8期エコ推進員36名のところ第9期は27名で9名減です。落二地区は4名減。          何で楽しく、魅力的でなくなったのでしょうか          【活動内容発表表】</p> <p>(1) エコライフ推進員活動          (2) 特定非営利活動法人（NPO）新宿環境ネットワーク</p> <p><b>4 区説明要請依頼</b></p> <p>環境の活動は基本計画に基づいて実施するものだからです。</p> <p>(3) 新宿区第三次環境基本計画          (4) 新宿区みどりの基本計画</p>	<p><b>環境学習会1</b></p> <p><b>環境の位置付け・経緯</b></p> <p>新宿は(2000年)平成12年12月ISO14001の認証取得、環境にやさしい区政の実現に取り組む。2006年2月京都市定章が発効した事も踏まえ2006年2月「新宿区省エネルギー環境指針」策定。「新宿区環境基本計画」を進め、区民や事業者との連携と協働により「環境宣言」にふさわしい区の実現を目指す。2018年3月「新宿区みどりの基本計画概要版」を策定しました。</p> <p>【エコライフ推進員活動】 関連課：環境清掃部環境課・ごみ減量リサイクル課          エコライフ推進協議会事務局：☎5273-3763</p> <p><b>1 位置付け</b></p> <p>(1994年)平成6年に策定された「新宿区環境管理計画」の中の「身近な環境に配慮し、地球にやさしいまち」という目標を推進するため、(1995年)平成7年に環境保全推進委員が設けられました。(2004年)平成16年には、環境保全委員に代わるエコライフ推進委員の設置が「新宿区環境基本条例（平成9年4月1日施行）」で規定されました。又、「新宿区リサイクル及び一般廃棄物の処理に関する条例」に規定されたリサイクル推進員の活動もエコライフ推進員の活動に統合されました。</p> <p><b>2 委 嘱</b></p> <p>区内在住または在勤・在学の方で環境問題やリサイクル問題に関心があり、地球で啓発活動などができる18歳以上の方が対象です。定員は40名程度で、約半数は公募により募集しています。任期は2年で、区長から委嘱されます。</p> <p>第1期：89名 任期：(2004年)平成16年7月1日～(2006年)平成18年6月30日          第9期：28名 任期：(2020年)令和2年4月1日～(2022年)令和4年3月31日          &lt;活動参加&gt; 第4期～9期（第4期～第8期10年にて感謝状を区から受領しました。）</p> <p><b>3 【活 動 内 容】</b></p> <p>環境保全活動を地域に広げていく事を目的とし、区環境施策にも協力しながら様々な活動する。</p> <p>(1) エコライフ推進協議会を年4回開催          (2) 全体研修会（施設見学会）を年1回実施          (3) 新宿エコライフまつり等のイベントへの出席          (4) 3つの分科会活動を月1回程度開催</p> <p>① みどり・生き物分科会          みどりの普及に関する活動及び区内の生き物調査等</p> <p>② ごみの減量とリサイクル分科会          ごみの減量とリサイクルに関する情報収集及び周知等</p> <p>③ 地球温暖化対策・エネルギー分科会          地球温暖化対策及び省エネルギー活動の普及啓発や研究等</p> <p>(5) 区が行う環境保全推進事業への協力          (6) 身近な環境活動の普及・啓発          (7) 任期満了時に、活動内容を報告書としてまとめ区長へ提出</p>
--	---

## 環境学習会 2

### 【特定非営利活動法人 (NPO) 新宿環境活動ネット活動】

- 1 活動条件  
新宿区環境清掃部より指定管理者として認定が必要。委託5年間(2017年度~21年度)
- 2 定款の目的  
新宿区を中心としてその周辺地域のまちが環境に配慮した快適な都市になることを願う人たちが、市民・事業者・行政の立場や専門分野を超えて情報交流するゆるやかなネットワーク運営事業を軸に、環境への配慮を推進する関連事業実施を通じて、持続可能な社会実現に寄与することを目的とする。
- 3 エコギャリー新宿(新宿区立環境学習情報センター及び区民ギャラリー):連絡先  
TEL: 03-3348-6277 FAX: 03-3344-4434
- 4 【指定管理事業活動内容】2004年4月NPO法人新宿環境活動ネット発足18年目  
区民・団体・事業者・学校・行政の連携を推進、多様な環境活動やプロジェクトを推進  
(1)「エコギャリー新宿情報交換会」 地域活動者・所属団体の事業計画・活動进行交流  
(2) 地域連携活動①「サポーター会議」②「西早稲田リサイクルまつり」③「新宿中央公園夏まつり」④「新宿わくわくワーク」⑤「ふれあいフェスタ」  
(3) 新宿の環境学習応援団「まちの先生見本市」実行委員会開設、小学生発表教育委員会  
(4) 子どもの活動  
①「子どもエコ広場新宿」環境をテーマに専門家講師としてお呼びしワークショップ実施  
②「子どもエコクラブ」子供達の環境に関する自主的な活動を支援する日本環境協会事業  
③「神田川ファンクラブ」区民による自然愛護のクラブ<みどり公園隈みどりの保>  
(5) 夏休み子どもエコ講座「エコにトライ」子どもまたは親子で参加できる環境学習講座  
(6) 環境学習講座  
①「エコリーダー養成講座」(全9回) 地域環境のリーダーとなる人材養成施設見学会有  
②「セミの羽化観察会」一夜限りの神秘的の光景です。夜の中央公園で生態を学び観察  
③「寄せ植え講座」寄せ植え作りを通じて四季を感じ緑豊かなまちづくりを目指します  
(7)「エコライフまつり」エコライフ活動について学び考える機会として環境月間を実施  
(8)「みどりのカーテン普及啓発事業」家族や地域で取り組める温暖化対策ヒートアイランドプロジェクトを推進。ゴーヤの育て方、土のリサイクルの方法を説明・展示する  
(9)「新宿エコワン・グランプリ」家庭・企業等優れた環境活動を表彰する  
(10)家庭活動実践  
①「電気使用量測定機器の貸し出し」(無料)電気料削減・アンペア検討節電可能  
②「新宿エコ座」家庭や事業所でCO2排出量の削減に積極的に取り組んでもらうため  
③「新宿エコ自慢ポイント」登録でレジ袋削減に協力する等によりポイント受領物と交換  
(11)自然体験学習「新宿の森」  
◇長野県伊那市◇群馬県沼田市◇東京都あきる野市 森を育ててCO2を吸収させて、区内のCO2排出量から相殺する取組(カーボン・オフセット)を進めています。  
(12)「公園サポーター・道のサポーター」区立公園や区道の清掃・植栽の手入れ・鑑め等  
(13)3R活動講座。古布や余った毛糸を活用する講座。子供や親子が対象身近な材料  
①「環境リサイクル講座」②「リサイクル工作講座」

## エコライフの取組について

日常生活の中で、無理のない範囲で環境に配慮した取組を行った。

買い物の際には、レジ袋削減を目的として風呂敷をエコバッグ代わりに使用し、繰り返し使える点や用途に応じて形を変えられる利便性を実感した。

また、夏季にはゴーヤを育ててみどりのカーテンを設置し、直射日光を和らげることで室温上昇を抑え、冷房使用の節電を意識した。植物を育てることで、環境への関心も高まった。

収穫したゴーヤは、チャンプルーにしたりニンニクとのスープにしたり、堪能した。

その他、冷房使用時の設定温度に配慮したり、日用品購入時に詰め替え用を選ぶなど、廃棄物削減を意識した行動を心掛けた。

今後も身近な工夫をしながら、環境に配慮した生活を実践していきたい。

## 個人としてのエコライフ活動報告

ごみ減量のために活動してきたことを以下の通り報告いたします。

### ・ごみの分別の徹底化

直接エコ活動に関わるかということそうではないかと思いますが、3R活動として「PET」「プラ」の分別を徹底しました。

### ・フードロスへの活動

野菜やその他の食材を購入するのは良いのですが、使わずに廃棄することのないように残り物を活用した調理や、食材を購入するタイミング等を工夫しました。我が家は夫婦ともに就業している関係で調理する機会が限られるため、スーパーに行っても調理する機会があるかどうかで食材の購入のタイミングを凶っていました。

食材よりも総菜などを購入した方が良い時には総菜を購入したりもしていました。

### ・自家栽培

購入した食材で、その後自家栽培で育てられるものは育てて後に食材として活用していました。

一番の例としては小ネギ。根っこを土に植えて、伸びたものを食材として活用していました。

エコ活動を推進する上では、「農家など、食材を育ててくれた方々」「ごみとして廃棄されたものを処理する方々」「生活のためにと考えて様々な便利な品物を作ってくれた方々」などのことを想い、簡単に廃棄するようなことは避けてきた次第です。

## 新宿SDGsフェス2025（第23回まちの先生見本市）

日時：12月20日（土）10時～16時

場所：新宿中央公園ファンモアタイム広場

参加内容：パネル展示及びワークショップ（松ぼっくりのクリスマスツリー、紙皿の雪だるま及びリース作り）

### 1. 事前準備

ワークショップは昨年度が好評だったので今年度も同じに決め、押し葉やペットボトルキャップの収集をした。松ぼっくりは夏休みに近県に旅行する人たちで採集した。

また、9月から12月の定例会では当日参加者が絵付けや糊付けで完成できるよう下準備をし、持ち帰り用の紙袋も作成した。

### 2. 当日

・午前中は雨模様のためか出足が鈍かったが徐々に増え、用意した雪だるま・松ぼっくりは好評だった。

- ・公園という場所柄か幼児連れの親子が多かった。
- ・事前に用意した新聞紙作成（糊を使わず折りたたむだけ）の紙袋が好評で何人かに教えて欲しいと言われた。
- ・まちの先生見本市第1回から参加していた筆者にとっては馴染みある方々の不参加を寂しく思う一方で新規参加団体の魅力的な活動に嬉しく希望をもてました。



## エコライフまつり参加体験報告

私は、エコライフまつりに、来場者として参加したことはありますが、発表者として参加するのは初めてでした。

来場の方々、新宿区で見られる生き物たちについて、参加型でさらに関心を深めていただけるようにということで、

これまでに確認されている生き物たちの地図の展示のほかに、

- ・白地図に、ご自身が見かけた動植物たちを書き込んでもらう
- ・クイズ
- ・折り紙

を、提供しました。

子供さんは、絵入りで、身近な生き物を書いてくださったり、ご家族でも楽しんでいただけたのが良かったです。

また、大きなヘビなど、知らなかった「新宿在住」の生き物たちの存在も興味深く、私自身も楽しくて、もっと広く、新宿区の生き物情報を集めたいと思いました。

新宿区内の地域色、緑が多い地域や川の周辺の地域などによる生き物の分布も垣間見えて、そのあたりももっと調べたくなりました。

最初は、ボードに貼った地図に書いてもらうようにしていましたが、昨今は、人々の視線がどうやら下方向に偏っているせいか、展示物はスルーされてしまう傾向も感じ、テーブルに広げた地図の上書き込んでもらうように変えたところ、参加者が増えたことは、別の発見でした。

壁よりテーブルの上のほうが物理的・心理的距離も近いです。

折り紙は自分で提案しておきながら、昆虫の折り紙など、なかなか複雑で、本番当日までにマスターできなかつたのですが、久しぶりに折り紙を折るのは新鮮な体験でもあり、また、来場の子供さんたちは、自分で好きなものをどんどん折って楽しんでくれるので、その点も新発見でした。

その他に、個人的に充実した体験では、自分で提案し作成したもので、「生き物の足跡当てクイズ」です。

そのためにいろいろ勉強をしたのですが、動物の歩行のタイプによる違いから、ヒトの歩行を考えることで、自身が日頃、修めている武術・武道からの心身の健康を養う身体づかいまで理解が深まり興味深かったです。

単に自分で学ぶためだけよりも、ひとに伝えるために情報を整理することで、探求も深まります。

都心部の環境に適応して暮らすことで生き物たちの生態も変化する面があり、実際の足跡観察から、そうした変化が読み取れるのか、今後、探求してみたいです。

発表側で参加するのは、様々な発見や学びも多く深いということを実感しました。もともとお祭り好きなのもあり、やはり、イベントはいいですね！

# ～資料～

## 新宿区エコライフ推進員の活動に関する要綱

### (目的)

第1条 この要綱は、新宿区環境基本条例（平成8年新宿区条例第13号）第23条で定める新宿区エコライフ推進員（以下、「推進員」という）について、必要な事項を定めることを目的とする。

### (活動)

第2条 推進員は、今日の環境問題の多くが日常生活や事業活動と密接な関係にあることを認識し、環境の保全、環境への負荷の低減等に配慮した暮らしを実践するとともに、新宿区立環境学習情報センターと連携及び協働を図り、その活動を地域に広げていくことを目的として、次の活動を行う。

- (1) エコライフの実践に関すること。
- (2) エコライフの普及啓発活動に関すること。
- (3) 前各号のほか、エコライフの推進に関すること。

### (構成)

第3条 推進員は40人程度とし、公募によるものとする。

二 応募者が、第一項の人数を著しく超えた場合は、公募による応募者の中から選考会によって推進員を決定する。選考員は、環境清掃部長、環境清掃部環境対策課長、環境清掃部ごみ減量リサイクル課長の3名とする。

### (委嘱)

第4条 推進員は、次の要件を満たす者に対し、区長が委嘱する。

- (1) 区内に在住、在勤又は、在学すること。
- (2) 18歳以上であること。
- (3) 第2条に掲げる活動を遂行できること。

二 前項の要件を欠いた場合、区長は委嘱を取り消すことができる。

### (任期)

第5条 推進員の任期は2年とする。ただし、区長が特に必要と認めた場合は、別途任期を定めることができる。

### (活動謝礼)

第6条 推進員には、活動謝礼を支払うものとする。

二 活動謝礼の支払いに関する詳細は、別途基準を定める。

### (協議会)

第7条 推進員の活動等を円滑に推進するため、推進員によって構成される新宿区エコライフ推進協議会を置く。

### (守秘義務)

第8条 委員は、活動において知り得た個人のプライバシーについて、第三者に漏らしてはならない。

(庶務)

第9条 推進員及び協議会の庶務は、環境清掃部環境対策課が担当する。

(補則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附則

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

附則(平成18年4月1日)

この要綱は、平成18年7月1日から施行する。

附則(平成20年4月1日)

この要綱は、平成20年7月1日から施行する。

附則(平成23年7月1日)

この要綱は、平成23年7月1日から施行する。

附則(平成24年4月1日)

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

附則(平成26年4月1日)

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

附則(平成28年3月1日)

この要綱は、平成28年3月1日から施行する。

附則(令和7年10月27日)

この要綱は、令和7年11月14日から施行する。

## 新宿区エコライフ推進協議会運営要領

平成 22 年 4 月 1 日

### (目 的)

第 1 条 新宿区エコライフ推進員の活動に関する要綱（平成 16 年 4 月 1 日付 16 新環環環第 26 号、以下「要綱」という。）第 7 条に規定する新宿区エコライフ推進協議会（以下、「協議会」という。）について、必要な事項を定めることを目的とする。

### (運 営)

第 2 条 協議会は、新宿区エコライフ推進員（以下、「推進員」という。）が自主的に運営するものとする。

### (協 力)

第 3 条 推進員は、協同、協力し合い、要綱第 2 条に定める活動を行う。

### (会長等)

第 4 条 協議会に会長及び副会長を置く。

- (1) 会長及び副会長は、推進員の互選により定める。
- (2) 会長は、協議会を積極的に運営し、副会長はこれを補佐する。
- (3) 協議会の招集は、会長が行うものとする。ただし、会長に事故があるときは、副会長がその職務を代理する。
- (4) 協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

### (分科会)

第 5 条 第 3 条に掲げるエコライフ活動を効率的に行うため、区と協議会が協働で取り組む課題ごとに分科会を置くこととする。

- (1) 環境保全、温暖化対策、ごみの減量とリサイクル推進等を課題とする分科会を置くこととし、区及び協議会の協議により決定する。
- (2) 分科会に、推進員の互選による責任者を置く。
- (3) 分科会活動には、推進員の総意により推進員以外の者も参加することができる。

### 附 則

この要領は、平成 16 年 7 月 1 日から施行する。

附 則(平成 18 年 4 月 20 日)

この要領は、平成 18 年 7 月 1 日から施行する。

附 則(平成 20 年 4 月 1 日)

この要領は、平成 20 年 7 月 1 日から施行する。

附 則(平成 22 年 4 月 1 日)

この要領は、平成 22 年 7 月 1 日から施行する。



## 第11期新宿区エコライフ推進員活動報告書

令和8年3月発行

編集・発行：新宿区エコライフ推進協議会

事務局：新宿区環境清掃部環境対策課脱炭素事業係  
〒160-8484 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号  
TEL (03) 5273-3553 FAX (03) 5273-4070  
E-mail : kankyo@city.shinjuku.lg.jp

この冊子は、地球環境保全推進のため再生紙を使用しています。